



# 二月 (平) 如月 星宿

二月四日立春の節より  
月命丙寅八白土星の月  
暗剣殺東北方

旧正月小

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
1日	土	きのと	四緑	福井永平寺涅槃会撰心(7日迄)、一粒万倍日 旧正月小	二	友引	み	つ	女	6.41	7.08	6.19	12.02
2日	日	きのえ	五黄	不成就日	三	先負	たい	いら	虚	6.41	7.09	6.19	12.02
3日	月	きのと	六白	節分、豆まき、奈良春日大社万灯籠 立春七時〇三分、初午、京都伏見稲荷初午祭、笠間稲荷初午祭、一粒万倍日	四	佛滅	さ	だん	危	6.40	7.10	6.19	12.02
4日	火	きのえ	七赤	尾鷲まつり(1日~5日)	五	大安	さ	だん	室	6.39	7.11	6.19	12.02
5日	水	ひのと	八白	旧七草、新宮神倉神社火祭、水沢黒石寺蘇民祭、松山椿祭(8日迄)	六	赤口	と	る	壁	6.38	7.12	6.19	12.02
6日	木	つちのえ	九紫	●上弦四時二二分、北方領土の日	七	先勝	や	ぶ	奎	6.37	7.13	6.19	12.02
7日	金	つちのとり	一白	こと始め、針供養	八	友引	あ	や	婁	6.36	7.14	6.19	12.02
8日	土	かえい	二黒	三隣亡	九	先負	な	る	胃	6.35	7.15	6.19	12.02
9日	日	かのと	三碧	加賀菅生石部祭、八せん始め、福島信夫三山眺参り、不成就日	十	佛滅	お	さん	●	6.34	7.16	6.19	12.02
10日	月	みづのえ	四緑	●建国記念の日、一粒万倍日	十一	大安	ひ	ら	畢	6.34	7.17	6.19	12.02
11日	火	みづのとし	五黄	伊勢神宮祈年祭(23日迄)、八戸えんぶり(20日迄)	十二	赤口	と	づ	觜	6.33	7.18	6.19	12.02
12日	水	きのえ	六白	全国狩猟禁止、日蓮聖人誕生会、二の午、一粒万倍日	十三	先勝	た	つ	参	6.32	7.19	6.19	12.02
13日	木	きのと	七赤	全国緑化キャンペーン、岡山西大寺会陽禊祭	十四	友引	の	ぞ	井	6.30	7.20	6.19	12.02
14日	金	ひのえ	八白	旧小正月、聖バレンタインデー、奈良長谷寺だだ押し	十五	先負	み	つ	鬼	6.29	7.21	6.19	12.02

曆日上、二月初頭には「立春」といふ春めいた節日が設けられているが、気候的、気温的には、雪または冷雨の日が多く、まだまだ寒波、寒風の荒れ狂うときである。「冠」とくにこの項に入るのは陰暦の正月で、太陰太陽曆を使用する東洋の占いでいる。したがって表紙裏の年輪早見表にも説明があるように、立春前日の節分までは、前年の生まれ年になる。この月は一ヵ月最少日の特異月で、しかもほぼ四年一回閏日がある。

「婚」婚礼に直接関係ないが、十四日は「聖バレンタインデー」とい、欧米ではこの日、女性から男性にプロポーズをしてもいいという風習がある。

もともとバレンタヌス司教の殉教の日であるが、これにギリシャ神話の女神のロマンスが重なったものらしい。最近ではわが国でも

15日	土	ひのと	九紫	○望八時五三分、ねはん会、横手かまくら、全国緑化キャンペーン、岡山西大寺会陽禊祭	十六	佛滅	たい	いら	柳	6.28	7.22	6.19	12.02
16日	日	つちのえ	一白	全国狩猟禁止、日蓮聖人誕生会、二の午、一粒万倍日	十七	大安	さ	だん	星	6.27	7.23	6.19	12.02
17日	月	つちのひ	二黒	伊勢神宮祈年祭(23日迄)、八戸えんぶり(20日迄)	十八	赤口	と	る	張	6.26	7.24	6.19	12.02
18日	火	かえい	三碧	庚申、不成就日	十九	先勝	や	ぶ	翼	6.25	7.25	6.19	12.02
19日	水	かのと	四緑	雨水二時五九分、旧二十日正月	廿	友引	あ	や	軫	6.24	7.26	6.19	12.02
20日	木	みづのえ	五黄	水戸梅まつり(3月31日迄)、アレルギー週間(17日~23日)	廿一	先負	な	る	角	6.23	7.27	6.19	12.02
21日	金	みづのと	六白	八せん終り、三隣亡	廿二	佛滅	お	さん	亢	6.22	7.28	6.19	12.02
22日	土	きのえ	七赤	福井勝山左義長祭、甲子	廿三	大安	ひ	ら	氏	6.20	7.29	6.19	12.02
23日	日	きのと	八白	●下弦二時一五分、皇太子誕生日、京都醍醐寺五大力尊仁王会、一粒万倍日	廿四	赤口	と	づ	房	6.19	7.30	6.19	12.02
24日	月	ひのえ	九紫	大田原大田山地蔵尊春大祭	廿五	先勝	た	つ	心	6.18	7.31	6.19	12.02
25日	火	ひのと	一白	京都北野天満宮梅花祭	廿六	友引	の	ぞ	尾	6.17	7.32	6.19	12.02
26日	水	つちのえ	二黒	良忍上人忌、不成就日	廿七	先負	み	つ	箕	6.15	7.33	6.19	12.02
27日	木	つちのと	三碧	己巳	廿八	佛滅	たい	いら	斗	6.14	7.34	6.19	12.02
28日	金	かえい	四緑	己巳	廿九	大安	さ	だん	牛	6.13	7.35	6.19	12.02

プレゼントするならわしをまねて、女性から男性にわたすチョコレットなどが盛んに売られるようになった。

「祭」「節分」は、本来は四季の移り変わるときのことというのであるが、とくに曆上の一年の最初の日の立春の前日で、地方によっては旧暦の大晦日(おひそか)として、それぞれ伝統ある行事が行われている。

一般的には「福は内、鬼は外」と福豆(大豆の炒ったもの)をまき、この豆を一粒多く(地方によっては一粒多く)だけ食べる厄よけがある。終(ひいらぎ)の枝にイワシの頭をさしたり、ニンニクなど強い臭気のあるものを添え「邪気」よけを行う風習もある。福豆をまき悪鬼を払うので追儺(おにやらい)といひ古くから神社仏閣で、この儀式は年男により行われている。十一日は「建国記念の日」として、国民の祝日になっている。

太平洋戦争終戦前は、紀元節といつて四大節の一つであったが、終戦後は説んで字のように、日本国建国の記念日に定められた。